

連年せん枝管理体系技術による一番茶の収量、品質の向上

入江慎二・下門 久  
(熊本県農業研究センター茶業研究所)

Shinji Irie and Hisashi Shimokado :  
By the Branch Control System Technology which Pruning Every Year Improvement  
in the Yield and Quality on First Crop of Tea

病虫害の発生を抑制したり、樹高を調整するため、二番茶摘採後にせん枝を行う管理体系が行われているが、その時期、深さ、またその後の枝条管理が翌年の収量、品質に与える影響について検討したので報告する。

1. 材料および方法

当茶業研究所のやぶきた園を用い、1999年から2002年まで各区毎連年で同一の処理を行い、翌年一番茶の生育、収量、品質、新芽の成分含量、秋整枝面の枝の大きさ(直径)、葉面積、葉層、枝条数(頂芽と側芽の割合)、側芽の大きさ等の調査を行った。

試験区の構成

区	せん枝 時期・深さ	初回整枝 (8月上旬)	秋整枝 (10月下旬)
1区	6月下旬 (-5 cm)	0 cm	3 cm
2区	" "	0	5
3区	" "	3	3
4区	" "	3	5
5区	" (-10cm)	0	3
6区	" "	0	5
7区	" "	3	3
8区	" "	3	5
9区	7月中旬 (-5 cm)	0	3
10区	" "	0	5
11区	" "	3	3
12区	" "	3	5

注) せん枝の深さは二番茶摘採面から、初回整枝はせん枝位置から、秋整枝は初回せん枝位置からの高さ。

第1表 一番茶の芽数・収量および秋の枝条構成 (平均)

区	芽数 (本/m <sup>2</sup> )	生葉 収量 (g/m <sup>2</sup> )	葉層 (cm)	側芽の 割合 (%)	枝の 直径 (mm)	葉 面積 (cm <sup>2</sup> )	第1 側芽長 (mm)
1区	2,375	765	10.0	53.5	1.6	9.09	4.4
2区	1,875	675	13.7	43.3	1.9	12.27	6.5
3区	1,675	616	13.8	60.9	1.9	13.12	6.5
4区	1,375	692	17.8	47.2	2.2	13.49	8.8
5区	2,150	666	13.3	69.5	1.7	8.40	4.5
6区	2,100	732	13.9	51.6	1.9	9.99	4.8
7区	2,375	625	14.8	73.5	1.8	11.65	4.8
8区	1,750	747	15.3	54.3	1.9	11.63	6.6
9区	2,650	802	12.9	49.9	1.5	7.78	4.6
10区	2,200	855	15.2	34.6	1.8	11.21	6.8
11区	1,775	676	15.7	68.1	1.8	11.76	5.8
12区	2,100	698	10.6	39.2	1.8	12.19	7.1

2. 結果および考察

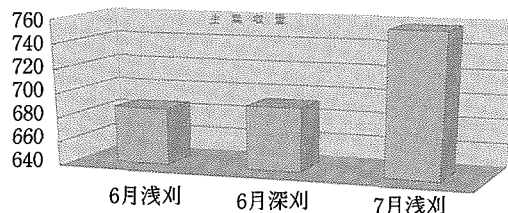
品質については、6月深刈り区が他の区に比べNF値(全窒素を繊維で割った値:近赤で分析した値を利用)でやや高い傾向にあったが、各区の平均では最高と最低の差が官能審査で4点、NF値で0.077であり、ほとんど差がなかった。

一番茶の生育、収量は、7月浅刈り区は芽数が多く、収量は7月浅刈り区、6月深刈り区、6月浅刈り区の順になった。初回整枝高さは0 cm区が3 cm区より、秋整枝高さは5 cm区が3 cm区より収量が高い傾向にあった。よって連年でせん枝する体系において、7月中旬に浅刈(-5 cm)を行い、8月上旬の初回整枝はせん枝位置で(0 cm上げ)、そして10月下旬に5 cm上げで秋整枝する体系が収量的に優れていると考えられる。

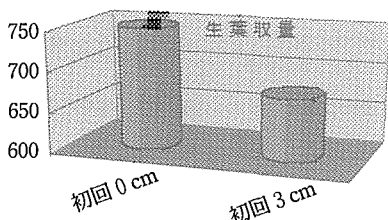
秋整枝後の枝条構成において、葉層、葉面積、枝の直径、第1側芽の長さについては、初回整枝は0 cmより3 cmの区、秋整枝は3 cmより5 cm区が大きい傾向にあった。側芽の割合については、初回整枝は0 cmより3 cmの区、秋整枝は5 cmより3 cmの区が高い傾向にあった。

第2表 近赤によるNF値および官能審査による製茶品質

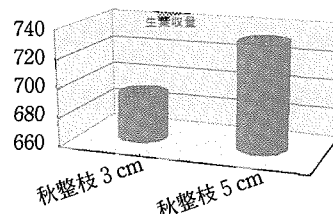
区	NF値				官能審査合計点			
	2000	2001	2002	平均	2000	2001	2002	平均
1区	0.270	0.203	0.249	0.241	95	95	94	95
2区	0.255	0.190	0.253	0.233	89	94	94	92
3区	0.286	0.203	0.255	0.248	98	93	97	96
4区	0.267	0.211	0.214	0.231	93	97	92	94
5区	0.283	0.221	0.259	0.254	96	94	97	96
6区	0.290	0.228	0.249	0.276	98	93	92	94
7区	0.328	0.217	0.267	0.271	98	94	92	95
8区	0.304	0.197	0.229	0.243	96	96	90	94
9区	0.233	0.207	0.272	0.237	95	91	90	92
10区	-	0.188	0.217	0.203	-	95	93	94
11区	0.283	0.201	0.229	0.238	91	93	94	93
12区	-	0.208	0.190	0.199	-	92	93	93



第1図 更新時期別収量の違い



第2図 初期整枝高さ別収量の違い



第3図 秋整枝高さ別収量の違い